

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	憲法	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	三科 俊	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	弁護士として法律事務所に在籍・勤務						
授業のねらい (到達目標)	1. 憲法の基本観念と人権の概念について概念を説明することができる 2. 日本国憲法の基本原理と人権保障・統治構造の概念を説明することができる 3. 日本国憲法上の重要条文について通説・判例の見解を説明することができる						
授業概要	日本国憲法の特徴と全体像が理解できるような授業を行う。 日本国憲法の基本原理と具体的な条文とを架橋する体系的な説明を行うことによって日本国憲法の基本的事項・重要事項の理解をはかる。						
テキスト	「憲法」姫路大学						
授業計画	第1回	憲法と立憲主義					
	第2回	日本憲法史、日本国憲法の構成と基本原理					
	第3回	象徴天皇、平和主義の原理					
	第4回	人権宣言の歴史、人権の観念と類型					
	第5回	人権の享有主体、人権保障の限界					
	第6回	私人間における人権の保障と限界、包括的基本権①					
	第7回	包括的基本権②、法の下での平等					
	第8回	精神的自由権①					
	第9回	精神的自由権②					
	第10回	人身の自由、経済的自由					
	第11回	社会権①					
	第12回	社会権②					
	第13回	国務請求権、参政権、国民の義務					
	第14回	統治機構					
	第15回	財政、地方自治、憲法の保障					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	1学年	開講期	後期	
科目名	情報処理技術 I (基礎)	授業形態	演習	単位数	1 単位	
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。					
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、掲示物・おたより・お知らせ文書ほか文書を必要とする書類などを作成する際にWordの知識と技術が必要となる。本教科では、Wordを基礎から学習し効率的に活用できるスキルを身につける。また、情報システムの発展と役割について理解する。					
授業概要	前期授業科目情報リテラシーに引き続き、Wordの演習を行う。 本試験対応の模擬試験プログラムで更に実力を向上させ、MOS検定合格を目指す。					
テキスト	MOS攻略問題集Word2019・情報リテラシーと処理技術					
授業計画	第1回	グラフィック要素の挿入と書式設定1				
	第2回	グラフィック要素の挿入と書式設定2				
	第3回	模擬1(演習)				
	第4回	模擬1(テスト)				
	第5回	模擬2(演習)				
	第6回	模擬2(テスト)				
	第7回	模擬3(演習)				
	第8回	模擬3(テスト)				
	第9回	模擬4(演習)				
	第10回	模擬4(テスト)				
	第11回	模擬5(演習)				
	第12回	模擬5(テスト)				
	第13回	実力判定テスト①				
	第14回	実力判定テスト②				
	第15回	実力判定テスト③				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期	
科目名	情報リテラシー	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	長谷川 直子	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	民間企業のパソコン部門でのインストラクター業務、また、人材派遣会社の研修部門でのパソコン研修指導およびパソコンヘルプデスクを担当。初心者から上級者まで幅広い実践的な技術指導を行う。ヘルプデスクでは、派遣社員のパソコン実務に関する質疑応答を電話によりリアルタイムで行う。					
授業のねらい (到達目標)	幼稚園や保育園などの教育機関において、掲示物・おたより・お知らせ文書ほか文書を必要とする書類などを作成する際にWordの知識と技術が必要となる。本教科では、Wordを基礎から学習し効率的に活用できるスキルを身につける。また、情報システムの発展と役割について理解する。					
授業概要	演習を通じ、パソコン環境設定、基本操作、Wordの基礎から活用操作まで学習し、MOS検定合格を目指す。また、テキスト教材を中心に情報システムの発展と情報活用能力、コンピュータ、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深める。					
テキスト	MOS攻略問題集Word2019・情報リテラシーと処理技術					
授業計画	第1回	本演習のガイダンス、PC環境設定①				
	第2回	PC環境設定②				
	第3回	PC環境設定③				
	第4回	オペレーティングシステムの6つの管理項目				
	第5回	情報化社会における情報活用能力				
	第6回	Windowsの基本操作、タッチタイピング、文字入力について				
	第7回	Wordの基本操作、新規文書の作成				
	第8回	文書の編集①				
	第9回	文書の編集②				
	第10回	表やリストの管理①				
	第11回	表やリストの管理②				
	第12回	参考資料の作成と管理				
	第13回	情報システムと社会生活との関わりについて				
	第14回	インターネット社会の光と影				
	第15回	科目試験				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	1学年	開講期	後期									
科目名	スポーツ(実技)	授業形態	実技	単位数	1単位									
担当教員	池 茜	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	大学・短期大学等で講師として													
授業のねらい (到達目標)	生涯にわたって運動・スポーツを自ら実践することができる能力を養う													
授業概要	各種のスポーツを仲間とともに体験し、技能の上達を図りスポーツの楽しさを味わう。 仲間と身体活動を行う中で、自己の体力・健康の保持・増進を図る。													
テキスト	特になし													
授業計画	第1回	ラジオ体操・器械運動												
	第2回	ソフトバレーボール①												
	第3回	ソフトバレーボール②												
	第4回	バレーボール①												
	第5回	バレーボール②												
	第6回	バドミントン①												
	第7回	バドミントン②												
	第8回	ポートボール①												
	第9回	ポートボール②												
	第10回	バスケットボール①												
	第11回	バスケットボール②												
	第12回	スケート①												
	第13回	スケート②												
	第14回	ドッジボール①												
	第15回	ドッジボール②												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:服装及び授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	教職論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年						
授業のねらい (到達目標)	小学校教諭や幼稚園教諭等をはじめとする, 教職に対する理解を深めるとともに, 専門職としての教師に必要な素養の質的向上を図る。						
授業概要	教師像の歴史的変遷, 教師の特性, 教職を取り巻く現況, 教育実習について, 教員採用試験について						
テキスト	姫路大学「教職論」						
授業計画	第1回	教師とは					
	第2回	教員, 教師, 教職, 教職員の違い					
	第3回	教師の一日					
	第4回	教育課程と教師					
	第5回	教師の特性					
	第6回	教師の身分, 懲戒, 権利等					
	第7回	教師を取り巻く現況					
	第8回	教師を取り巻く現況					
	第9回	働き方改革と教師					
	第10回	設題レポートについて					
	第11回	教師対象の研修, 初任者研修と10年経験者研修					
	第12回	教師対象の研修, 初任者研修と10年経験者研修					
	第13回	教育課程と教師					
	第14回	校種間の連携, 幼小接続					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	教育原理	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年						
授業のねらい (到達目標)	教育思想, 世界の近代教育史, 日本の江戸末期から令和にいたすまでの大まかな教育史を学ぶことにより, 教育に関心を持ち, 理解を深められるようです。また教育制度面の特徴をつかめるようにする。						
授業概要	教育の基本的概念, 制度, 歴史面について理解を深めるとともに, 教育とは何か, 学校とは何かについて, 仕組みや方法, 意義をつかむ。						
テキスト	姫路大学「教育原理」						
授業計画	第1回	オリエンテーション「教育」「学校」「先生」-教育とは何か-					
	第2回	「教育」とは何か -ヒトとチンパンジーとの違い-					
	第3回	教育思想家					
	第4回	教育思想家					
	第5回	「教育」の歴史 -欧米の教育-					
	第6回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(江戸末期)-					
	第7回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(明治・大正)-					
	第8回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(大正)					
	第9回	「教育」の歴史 -近代日本の教育(昭和)					
	第10回	「教育」の歴史 -近代日本の教育-					
	第11回	教育における今日的課題					
	第12回	教育における今日的課題					
	第13回	教育における今日的課題					
	第14回	諸外国の教育 -韓国の教育は-					
	第15回	諸外国の教育					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	特別支援論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	児童福祉施設での障害児支援の経験をもとに、障害の概念や特性、個人支援方法をふまえて教科指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	1、様々な障害がもたらす学習上・生活上の困難についての基礎的知識が理解できる。2、様々な障害のある子どもに対する支援の具体的方法が理解できる。3、障害児支援を支える理念や制度の歴史的変遷、インクルージョン及び合理的配慮について説明できる。						
授業概要	今後、保育や教育の現場には、様々な障害を持つ子どもたちが増えていくことが予想される中、障害の正確な理解と適切な対応は、支援者に不可欠な専門性となっていくことが予想される。この科目では、障害児支援の歴史、合理的配慮を必要とする子どもの保育・教育を支える理念や法律・制度を踏まえ、各障害の症状や特性と支援方法について学ぶ。						
テキスト	「特別支援論Ⅰ」姫路大学						
授業計画	第1回	オリエンテーション					
	第2回	障害の概念					
	第3回	障害児保育の歴史①(保育所)					
	第4回	障害児保育の歴史②(施設)					
	第5回	保育の一元化・一体化と障害児保育					
	第6回	日本における障害児教育の歴史					
	第7回	障害の理解と支援 ①知的障害児への支援					
	第8回	障害の理解と支援 ②発達障害児への支援					
	第9回	障害の理解と支援 ③肢体不自由児への支援					
	第10回	障害の理解と支援 ④重度心身障害児への支援					
	第11回	障害の理解と支援 ⑤視覚障害児への支援					
	第12回	障害の理解と支援 ⑥聴覚障害児への支援					
	第13回	障害の理解と支援 ⑦言語障害児への支援					
	第14回	障害の理解と支援 ⑧言語障害児への支援					
	第15回	まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	学校・学級経営論	授業形態	講義	単位数	2単位		
担当教員	斎藤 真	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	宮城県公立小中学校 1.5か年, 山形県小学校教員9か年, 国立大学法人教員養成大学および大学院におけるティーチングアシストおよびティーチングサポート(授業支援, 学生支援)2か年						
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校教育の動向を理解する</li> <li>2. 学校や教育行政機関の目的とその実現に学校経営の観点から理解する</li> <li>3. 学校保健安全法に基づく危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取り組みを理解する</li> <li>4. 学級経営に関わる指導力を身につける</li> </ol>						
授業概要	現代の学校教育に関する経営的事項について基礎的な知識を身につけるとともに、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する理解を図る。学級が抱える今日的な課題について理解を深め、学級経営に関わる指導力の獲得を目指す。						
テキスト	学校・学級経営論(姫路大学)						
授業計画	第1回	学校を巡る近年の様々な状況の変化					
	第2回	子どもの生活の変化を踏まえた指導上の課題					
	第3回	近年の教育政策の動向					
	第4回	公教育の目的を実現するための学校経営」					
	第5回	学校評価の基礎理論を含めたPDCAについて					
	第6回	地域との連携を基盤とする開かれた学校づくりの推進の背景					
	第7回	学校における危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性					
	第8回	学校を取り巻く新たな安全上の課題とその取り組み					
	第9回	実践的学級経営の重要性					
	第10回	実践的学級経営の重要性					
	第11回	教職員や学校外の関係者・関係機関との連携・協働					
	第12回	地域との連携・協働による学校教育活動の意義					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)		
科目名	音楽表現(ピアノ)	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者の学生からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスをを行っている。						
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。						
授業概要	本科目では、楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識、技術を身につけ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。また、保育・教育・福祉等の現場に即した音楽活動について体験的な学習をする。						
テキスト	「こどもと音楽表現」「バイエルピアノ教則本」「保育の四季 幼児の歌110曲集」						
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第8回	中間試験					
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)	
科目名	音楽表現(ピアノ)	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	川内菜央・寺内めぐみ・市嶋融介	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスを行っている。					
授業のねらい (到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。					
授業概要	本科目では、楽譜を読む、音を奏でる、リズムを打つといった音楽の基礎知識、技術を身につけ、対象者に合わせた音楽活動について考察する。また、保育・教育・福祉等の現場に即した音楽活動について体験的な学習をする。					
テキスト	「こどもと音楽表現」「バイエルピアノ教則本」「保育の四季 幼児の歌110曲集」					
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第2回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第3回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第4回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第5回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第6回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第7回	中間試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第8回	中間試験				
	第9回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第10回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第11回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第12回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第13回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第14回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
	第15回	期末試験課題(ソルフェージュ・バイエル・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	音楽表現(声楽)	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	川内 菜央	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	中学校、高等学校での現場経験から、本科目ではおもに音楽理論及び声楽について教授する。						
授業のねらい (到達目標)	感性と表現に関する領域「表現」について理解を深める。 音楽表現指導に関する専門的知識・技能・表現力を身につける。						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>感性と表現に関する領域「表現」について学び、子どもの音楽表現の姿やその発達を促す要因について理解を深める。</li> <li>音楽理論について学び、理論に基づき音楽を総合的に理解する力を養う。</li> <li>声楽等の演習を通して、音楽指導に関する専門的知識・技能・表現力を身につける。</li> </ul>						
テキスト	「バイエルピアノ教則本」「保育の四季 幼児の歌110曲集」						
授業計画	第1回	楽譜の基礎知識					
	第2回	楽譜の基礎知識					
	第3回	音名					
	第4回	記号と標語					
	第5回	記号と標語					
	第6回	音程					
	第7回	音程					
	第8回	和声とコード					
	第9回	和声とコード					
	第10回	音階					
	第11回	音階					
	第12回	レポート設題					
	第13回	レポート設題					
	第14回	音楽理論の総合問題					
	第15回	音楽理論の総合問題					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	造形表現	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	渡邊 恵美	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	高等学校美術科非常勤講師						
授業のねらい (到達目標)	1. 保育指導法「表現」のねらいと内容等に基づいた保育の基本について理解できる。 2. 乳幼児の表現活動の大切さと発達段階を踏まえた造形的な表現の特徴が理解できる。 3. 乳幼児の造形表現活動の展開と援助のあり方を学び、保育者としての知識と技術が習得できる。						
授業概要	乳幼児の表現活動の大切さと発達過程や造形的な表現の特徴を理解する学習をする。さらに材料・用具、手法をもとに「えがく」「つくる」「造形あそび」などの題材や環境構成、援助のあり方についての知識と製作体験とを関連づけながら学習を深める。						
テキスト	新造形表現 理論・実践編						
授業計画	第1回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園 教育・保育要領における「表現」領域及び小学校との連携(「図画工作」の学習指導要領)					
	第2回	造形教育の思想と指導法の推移及びこどもの発達段階における表現の特徴					
	第3回	こどもの発達段階における表現の指導・援助(指導案)と評価					
	第4回	こどもの発達段階における表現の指導・援助(指導案)と評価					
	第5回	教材研究を伴う製作I(えがく)					
	第6回	教材研究を伴う製作I(えがく)					
	第7回	教材研究を伴う製作I(つくる)					
	第8回	教材研究を伴う製作I(つくる)					
	第9回	教材研究を伴う製作Ⅲ(造形あそび)					
	第10回	教材研究を伴う製作Ⅲ(造形あそび)					
	第11回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)					
	第12回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)					
	第13回	実践的な指導法(模擬保育等)の学習(えがく・つくる・造形あそび)					
	第14回	えがく、つくる、造形あそびの保育展開(指導法)と情報機器及び教材の活用まとめ					
	第15回	えがく、つくる、造形あそびの保育展開(指導法)と情報機器及び教材の活用まとめ					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席  平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期									
科目名	身体表現	授業形態	演習	単位数	1単位									
担当教員	山田 すみ江	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	保育士、幼稚園教諭、母親学級講師、スポーツインストラクター経験を生かし、現場で求められる保育者の資質に基づいて実践的な指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	こどもを対象とした運動遊びを計画・実践するために必要な実践的力量形成を目的とする													
授業概要	子どもの運動特性を理解したうえで、様々な運動遊びを実際に行い、それらの指導上の留意点などについて説明する。また、簡単な遊びを計画・実践し評価を行う。													
テキスト	なし													
授業計画	第1回	3歳未満児の運動特性について												
	第2回	3歳以上児の運動特性について												
	第3回	運動遊びの提案①												
	第4回	運動遊びの提案②												
	第5回	運動遊びの提案③												
	第6回	運動遊びの提案④												
	第7回	運動遊びの計画												
	第8回	運動遊びの発表に向けた準備												
	第9回	運動遊びの発表①												
	第10回	運動遊びの発表②												
	第11回	運動遊びの発表③												
	第12回	運動遊びの発表④												
	第13回	運動遊びの発表⑤												
	第14回	運動遊びの発表振り返り・評価												
	第15回	まとめ												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	こどもと人間関係	授業形態	講義	単位数	1単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育園での勤務経験から、子どもの発達を促す保育内容について理論に基づき実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容を構成する人間関係の基礎理論を理解する。</li> <li>・子どもの発達とともに人間関係がどのように広がり、深まっていくのかを理解する。</li> <li>・保育の全体構造における人間関係に関して総合的に援助・指導が行えるような理論や知識を習得する。</li> </ul>						
授業概要	1) 乳幼児を取り巻く人的環境について理解する。 2) 現代社会の人間関係の諸問題を理解し、子どもが豊かな人と関わる力を育成するための、保育者の指導・援助などのかかわり方を理解する。						
テキスト	姫路大学「こどもと人間関係」、保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、認定こども園教育保育要領						
授業計画	第1回	子どもの育つ環境を理解し、環境からさまざまな影響を受ける他者と関係					
	第2回	子どもを取り巻く環境と子どもが人と関わる力を育てるには					
	第3回	領域人間関係のねらいと内容					
	第4回	メディアが子どもの成長に与える影響					
	第5回	人間関係作りを支える保育者の役割					
	第6回	基本的信頼関係と人間関係					
	第7回	自己主張・葛藤体験・他者受容とは					
	第8回	遊びの中で育つ人と関わる力①					
	第9回	遊びの中で育つ人と関わる力②					
	第10回	乳児期の人との関わり①					
	第11回	幼児期と人との関わり②					
	第12回	主体性、自発性、自立性、創造性など個の育ちと集団の関係性					
	第13回	幼児期と学童期の育ちの連続性と人と関わる力					
	第14回	まとめ：乳幼児期の人と関わる力を育てるとは					
	第15回	科目修了試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価：課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期	
科目名	こどもと環境	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	1. 領域「環境」のねらいと内容を理解する。 2. 子どもを取り巻く様々な環境を理解し、関心を持つ。 3. 保育者の役割を常に考え、保育実践力を身につける。					
授業概要	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。 子どもの発育・発達における環境とのかかわりの重要性を学びながら、保育の環境や環境構成のあり方について理解する。					
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 環境					
授業計画	第1回	環境とは何か？ 環境の定義				
	第2回	環境とは何か？ 子どもを取り巻く環境の変化を知る				
	第3回	領域「環境」の理解 ねらいと内容				
	第4回	領域「環境」の理解 環境を通して行う保育				
	第5回	環境の構成 教師の願いを込める				
	第6回	環境の構成 身近な環境の構成				
	第7回	環境の構成 季節や地域の行事				
	第8回	環境の構成 好奇心・探究心を育てる環境				
	第9回	園での実際の環境構成(映像学習)①				
	第10回	園での実際の環境構成(映像学習)②				
	第11回	園での実際の環境構成(映像学習)③				
	第12回	保育者の存在 人的環境の重要性				
	第13回	標識・文字、数量・図形との出会い				
	第14回	ねらいを達成するための環境構成の工夫(校外学習計画)				
	第15回	校外学習				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	表現 I	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導28年						
授業のねらい (到達目標)	領域「表現」のねらい及び内容について、他領域と関連づけながら理解を深める。生活や遊びの中で幼児の気づきを促し、豊かな感性や表現の育ちを支えるような表現活動を展開することができる。						
授業概要	領域「表現」の指導に関する保育現場における表現活動についての基礎的知識・技能を身につけ、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の発達に即した援助する力を高める。幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学び、専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける						
テキスト	「改訂4版 幼児の音楽教育法 美しい歌声をめざして」 ふくろう出版 吉富 功修・三村 真弓 編著						
授業計画	第1回	領域「表現」のねらい及び内容の理解・幼児の表現の発達の理解					
	第2回	表現とは何か、表現の意味を理解する。表現の生成過程を分析的に捉え、領域「表現」のねらい及び内容について理解する。					
	第3回	環境との対話					
	第4回	身体の諸感覚を通して様々な環境と対話し、感じる、みる、聴く、楽しむことを通して感受性を豊かにする					
	第5回	素材との出会い・素材そのものと遊ぶ					
	第6回	身近な素材に諸感覚を通して触れ、親しみ、その特性を生かして身体・造形・音楽表現などの様々な表現を体験し、幼児の表現活動の可能性を探る。					
	第7回	音遊び・歌遊び・わらべうたを「学びの視点」から捉える					
	第8回	周りの音に耳を澄ます、聴くことの大切さに気付く。					
	第9回	豊かな表現のために					
	第10回	季節や行事の歌を用いて、言葉の意味や情景、心情が伝わるような表情豊かな歌唱表現を身につける。					
	第11回	音楽と融合した身体表現・鑑賞					
	第12回	クラシック音楽を活用した身体表現をしながら鑑賞を行う。鑑賞を保育の中でどのように取り上げるか、展開例を考える。					
	第13回	劇表現					
	第14回	幼児の表現行為とそれに伴う作品を見る。幼児の素朴な表現を見出し、受け止め、共感する。					
	第15回	スクーリング科目試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期		
科目名	表現Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導28年						
授業のねらい (到達目標)	領域「表現」において求められる豊かな感性や表現する力、創造性について理解し、こどもの表現活動を支えていく支援について考える。様々な表現活動の実践から知識・技能を養い、協働して取り組む活動を通してより豊かな表現力を身につける。						
授業概要	こどもの表現を考えるにあたり自身の表現について振り返り、歌や身体表現、楽器遊びなどの実践を通して、基礎的な知識・技能を身につけ、豊かな表現へと繋げていく。絵本を題材とした音楽劇では総合芸術として製作・音楽・言葉(台詞)を取り入れ、具体的には曲や歌詞のイメージから情景や登場人物を製作し、楽器や声(歌)、身の回りの音を使って協働して表現していく。						
テキスト	リズム&ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリトミック・ゲーム67選 子どものためのリトミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業						
授業計画	第1回	領域「表現」のねらい及び内容について					
	第2回	表現の生成過程を分析的に捉え、領域「表現」のねらい及び内容について理解する。					
	第3回	こどもの発達と表現について					
	第4回	豊かな環境と表現の関係について理解する。					
	第5回	発達段階を考慮した歌の選曲について-音域・リズム・歴史的背景					
	第6回	歌と身体表現-わらべうたや手遊びの実践-					
	第7回	楽器による音楽遊び-五音音階を使って-					
	第8回	わらべうたや手遊びを体験することを通し、音楽的な「学び」について考える。					
	第9回	豊かな表現のために -音楽劇の表現について考える					
	第10回	五感で感じとったことをもとに、描く、つくる、音を奏でる、体で表すなど表現の可能性を探る。					
	第11回	協働して表現する-音楽劇の取り組み					
	第12回	鑑賞を保育の中でどのように取り上げるか、展開例を考える。					
	第13回	表現して楽しむ-音楽劇の実践					
	第14回	学習のまとめを発表する。					
	第15回	スクーリング科目試験					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期									
科目名	こどもと言葉	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。													
授業のねらい (到達目標)	領域『言葉』の内容、その他の領域との相互性を学び、言葉の発達の大切さを理解することができる。													
授業概要	乳幼児期の言葉の発達やそのしくみ、こどものへの先達となる保育者の言葉のあり方、姿勢などについて学習を深め、発達段階に合わせた関わりと言葉がけの大切さを理解すると共に、文字への興味、言葉の持つ楽しさや美しさ、言語教材についても学ぶ。													
テキスト	新保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る 言葉													
授業計画	第1回	言葉とは何か？ 私たちが言葉を使って行っていること												
	第2回	母語・日本語の特徴												
	第3回	言葉の形態(聞く話す読む書く)												
	第4回	言葉の役割①												
	第5回	言葉の役割②												
	第6回	言葉の発達(誕生期～乳児期)①												
	第7回	言葉の発達(誕生期～乳児期)②												
	第8回	言葉の発達(幼児期)												
	第9回	保育者の関わり(誕生期～乳児期)												
	第10回	保育者の関わり(幼児期)												
	第11回	豊かに言葉を育む活動①【語用論】												
	第12回	豊かに言葉を育む活動②児童文化財												
	第13回	言葉の問題① 人的環境として												
	第14回	言葉の問題② 障害												
	第15回	視聴覚教材【ピンク帽子のドレミファソ】												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	後期	
科目名	幼児教育課程論	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。					
授業のねらい(到達目標)	乳幼児保育における長期的な見通し、職員全員の共通認識、計画の重要性や作成方法について理解する。PDCAサイクルについて理解し、自身と園全体の保育の見直しが、保育の質の向上につながることを学ぶ。					
授業概要	保育の長期的見通し、教職員の共通認識、指導計画の重要性と計画の作成法を学ぶ。また、「計画・実践・反省・改善」の関連性についての事例を理解すると共に、保育の省察から子ども理解と保育の見直しについて掘り下げ、一人ひとりに即した保育の実践能力を培う。					
テキスト	「幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省」フレーベル館、「保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省」フレーベル館、田中亨胤、三宅茂夫編「教育・保育カリキュラム論」みらい2020年					
授業計画	第1回	【幼稚園・保育所・認定こども園について】教科書を見て授業内容と幼稚園・保育所・認定こども園の違いについて学びます。				
	第2回	【全体的な計画について】園でいう計画とは何か。なぜ保育をするには計画が必要なのかを学びます。				
	第3回	【教育課程・全体的な計画の編成方法①】教育課程と全体的な計画とは何か。また、それらが、園の中でどのように編成されるのか、手順を学びます。				
	第4回	【教育課程・全体的な計画の編成方法②】手順、形式、記入内容を学びます。				
	第5回	【教育課程・全体的な計画の編成方法③】編成の際の配慮する点を学びます。				
	第6回	【指導計画との関係について】教育課程や全体的な計画は、全ての指導計画のもとになり、職員全員に共通理解を与えるものであることを理解しましょう。				
	第7回	【指導計画の作成方法】指導計画を作成する時は、子どもの実際の活動や経験をイメージしながら、実践に結びつけやすく、無理のないように具体的に作成することを学びます。				
	第8回	【年間指導計画について】年間指導計画とは何かを理解しながら実際に作成してみましょう。				
	第9回	【月間指導計画について】月間指導計画とは何かを理解しながら実際に作成してみましょう。				
	第10回	【週日案について】週日案とは何かを理解しながら実際に作成してみましょう。				
	第11回	【デイリープログラムについて】日案との違いは何かを理解しながら実際に作成してみましょう。				
	第12回	【保育における記録と反省】計画し、実践し、評価反省をすることにより、次の課題が見つかることを学びます。				
	第13回	【保育における評価と改善】計画し、実践し、評価反省をすることにより、次の課題が見つかることを学びます。反省と評価には様々な方法があることも学びます。				
	第14回	【現代の保育ニーズや他国の教育課程について】目まぐるしく変化する社会と子育てについて学びます。また、他国との保育の違いについて学ぶことにより、他国の良さ、私たちの保育の良さを発見することができます。これから生きる保育者として、日本の保育の課題は何かを考えましょう。				
	第15回	【期末試験】				
単位認定・評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	前期									
科目名	保育内容総論	授業形態	講義	単位数	1単位									
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	私立幼稚園・保育所での勤務経験から、現場で行われている保育と理論が一致する実践的指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護と教育が一体となった保育、領域の考え方や保育内容を総合的に理解する。</li> <li>・園での生活や遊び、保育計画、具体的な援助等について保育実践と結び付ける。</li> </ul>													
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 領域別に学んだ内容を実際の子どもの姿と結びつけて総合的に理解する。</li> <li>2) 保育所保育指針等に基づく保育内容の基本的理解が深まるようにする。</li> </ol>													
テキスト	姫路大学「保育内容総論」、保育所保育指針、幼稚園教育要領													
授業計画	第1回	保育の全体構造(1) 保育とは、幼稚園・保育所・認定こども園とは												
	第2回	保育の全体構造(2) 指針・要領と養護と教育に一体化												
	第3回	保育の全体構造(3) 領域の考え方と乳児保育												
	第4回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(1)環境を通しての保育												
	第5回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(2)遊びによる総合的保育												
	第6回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(3)生活と遊びと保育者の役割												
	第7回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(4)保育者の役割まとめ												
	第8回	乳幼児にふさわしい生活と保育内容(5)幼保小の連携について												
	第9回	科目修了テスト												
	第10回	全体的な計画の作成と指導計画(1)全体的な計画の作成												
	第11回	全体的な計画の作成と指導計画(2)指導計画の作成手順と配慮												
	第12回	保育の評価と保育の記録(1)幼児理解に基づく評価												
	第13回	保育の評価と保育の記録(2)観察記録を書く意味と幼児理解												
	第14回	保育内容の歴史の変遷												
	第15回	期末テスト												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <th>期末</th> <th>中間</th> <th>平常</th> <th>出欠</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	後期		
科目名	乳児保育 I	授業形態	講義	単位数	2 単位		
担当教員	原田 明子	実務経験の有無		○			
実務経験教員の経歴	私立乳児園での勤務経験から、現場で求められる乳児保育担当者の資質・能力が培われるよう、実践的指導を行う。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児保育の理念と役割を理解する</li> <li>・3歳未満児の発達を理解し、個々の発達を促す保育内容とは何か考える。</li> </ul>						
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 乳児保育の理念・役割・発達を理解し、学んだことを整理しまとめる。</li> <li>2) 事例をとおして、乳児のかかわり方を知る。</li> </ol>						
テキスト	姫路大学「乳幼児保育」、保育所保育指針、日本が誇る丁寧な保育、0.1.2.歳児の発達と保育						
授業計画	第1回	「赤ちゃんの不思議」を視聴し、赤ちゃんのしらせざる能力を知り、乳幼児に興味をもつ					
	第2回	乳児保育とは 乳児保育の基本と子どもの最善の利益について					
	第3回	乳児保育における「養護」と「教育」の一体性とは					
	第4回	乳児保育の歴史と現代における乳児保育の役割と機能					
	第5回	0歳児の発達特徴と保育者の援助					
	第6回	1歳児の発達特徴と保育者の援助					
	第7回	2歳児の発達特徴と保育者の援助					
	第8回	乳児の発達を促す保育者の関わり(事例)①					
	第9回	乳児の発達を促す保育者の関わり(事例)②					
	第10回	保育所における子育て支援					
	第11回	乳児保育と子育て支援					
	第12回	乳児の衛生面・安全面を7考慮した保育のあり方					
	第13回	乳児の生活習慣を育む保育者の援助・配慮について					
	第14回	赤ちゃんの記録づくりを通し、赤ちゃんが保護者にとってどれほど大切かを学ぶ					
	第15回	科目修了テスト					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)	
科目名	実習指導 I	授業形態	演習	単位数	2 単位	
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	保育実習の意義や目的を理解し、実習生としての態度や技術を身につける。また、社会人としてのマナーや言葉遣いを身につける。指導案・日誌を書くための感性と文章力を養う。いつもねらいを持ち、子どもの主体性を尊重した保育ができるよう、授業内で数多くの実践を行いながら柔軟な思考や臨機応変の態度を身につける。					
授業概要	グループ園実習に関することを学びます。ねらいを立て、活動を実際に行いながら学んでいきます。					
テキスト	長島和代編「保育の基本用語」わかば社、「幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省」フレーベル館、「保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省」フレーベル館、大豆生田啓友ほか編著「これからの時代の保育者養成・実習ガイド」中央法規					
授業計画	第1回	【保育ってなあに 1日実習【事前】】保育の意味と楽しさを学びます。子どもの世界に入らせてもらうことについて学びます。				
	第2回	【1日実習【事後】】1回目の一泊実習の振り返りをしましょう。あなた自身が楽しかったと感じたのはどのようなことですか。子ども達が楽しそうにしていたことはどのようなことですか。気になったことは何ですか。				
	第3回	【1日実習2事前】実習ついてしおりを読みます。実習の際の注意点、準備するものについて学びます。				
	第4回	【1日実習2事後】1日実習2の振り返りをしましょう。子ども達の様子で気になったことはありますか。				
	第5回	【2日間実習【事前】】1日実習2の振り返りをもとにめあてを立てます。観察実習・参加実習の方法を再確認します。観察実習はどのようなことに気を付けて見たら良いのかを学びます。				
	第6回	【2日間実習【事後】】2日間実習の振り返りをしましょう。記録をしてみましょう。初めて聞く言葉が出てきますので、覚えるようにします。				
	第7回	【2日間実習1 事後】日誌添削をもとに、日誌の書き直しをします。間違えやすい漢字、使えない語句などについて学びます。				
	第8回	【2日間実習2 事前】観察とはどのような視点で行えばいいかを理解します。前回の反省をもとに次回のめあてを考えます。				
	第9回	【2日間実習2事後】2日間実習の振り返りをしましょう。前回と違う点は何でしょう。				
	第10回	【2日間実習2 事後】日誌添削をもとに、日誌の書き直しをします。間違えやすい漢字、使えない語句などについて学びます。				
	第11回	【1日実習3 事前】実習方法を再確認します。				
	第12回	【1日実習3事後・絵本の読み聞かせについて】1日実習の振り返りをします。絵本の読み聞かせをします。声の大きさ、高さ、声色、座り方、ページのめくり方、めくる速さなど、配慮する点について学びます。				
	第13回	【指導案の書き方】指導案とは何でしょう。指導案の重要性、書くことの意味を理解します。指導案の書き方を学び、実際に書いてみます。				
	第14回	【指導案の書き方】指導案の書き方を学び、実際に書いてみます。指導案の表現方法を学びます。				
	第15回	【指導案の書き方】指導案の書き方を学び、実際に書いてみます。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)	
科目名	実習指導 I	授業形態	演習	単位数	2 単位	
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	保育実習の意義や目的を理解し、実習生としての態度や技術を身につける。また、社会人としてのマナーや言葉遣いを身につける。指導案・日誌を書くための感性と文章力を養う。いつもねらいを持ち、子どもの主体性を尊重した保育ができるよう、授業内で数多くの実践を行いながら柔軟な思考や臨機応変の態度を身につける。					
授業概要	グループ園実習に関することを学びます。ねらいを立て、活動を実際に行いながら学んでいきます。					
テキスト	長島和代編「保育の基本用語」わかば社、「幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省」フレーベル館、「保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省」フレーベル館、大豆生田啓友ほか編著「これからの時代の保育者養成・実習ガイド」中央法規					
授業計画	第1回	【お楽しみ会・つくってあそぼうの準備】グループごとに準備をします。ねらい、必要な物、必要な時間、配慮する点について考えます。				
	第2回	【お楽しみ会・つくってあそぼうの準備】グループごとに準備をします。ねらい、必要な物、必要な時間、配慮する点について考えます。				
	第3回	【お楽しみ会ORつくってあそぼう】グループごとに発表します。ポイントは、「クラスメイトの反応を見ながら臨機応変に行う」ことです。				
	第4回	【お楽しみ会ORつくってあそぼう】グループごとに発表します。ポイントは、「クラスメイトの反応を見ながら臨機応変に行う」ことです。				
	第5回	【遊びの指導案】お楽しみ会の内容で指導案を作成してみます。お楽しみ会で上手くいかなかった点があれば、そこが配慮する点になります。子どもの年齢についても考えます。				
	第6回	【遊びの指導案】お楽しみ会の内容で指導案を作成してみます。お楽しみ会で上手くいかなかった点があれば、そこが配慮する点になります。子どもの年齢についても考えます。				
	第7回	【制作の指導案】つくってあそぼうの指導案を作成してみます。上手くいかなかった点があれば、そこが配慮する点になります。材料の準備が年齢にあっていたかどうか確認します。				
	第8回	【制作の指導案】つくってあそぼうの指導案を作成してみます。上手くいかなかった点があれば、そこが配慮する点になります。材料の準備が年齢にあっていたかどうか確認します。				
	第9回	【1週間実習】事前】実習についてしおりを読みみます。準備するもの、心構えについて再確認しましょう。				
	第10回	【1週間実習】事後】1週間実習の振り返りをしましょう。うまくできたこと、ご指導いただいたことを記録することにより、学びが深まります。次の実習の目標に繋げましょう。				
	第11回	【1週間実習】事前】添削後の日誌を直します。間違えた漢字や表現方法について、正しいものを覚えるようにしましょう。				
	第12回	【1週間実習】事前】制作準備と実技をします。材料の選び方や準備の仕方について学びます。実技は、「目の前の子どもに合わせる」ことを心がけましょう。				
	第13回	【1週間実習】事前】制作準備と実技をします。材料の選び方や準備の仕方について学びます。実技は、「目の前の子どもに合わせる」ことを心がけましょう。				
	第14回	【1週間実習】事前】書類や部分実習の最終確認をします。しおりの内容も確認しましょう。自分の目標についても再確認します。				
	第15回	【1週間実習】事後】1週間実習の振り返りをします。また、今年度の実習の反省もしましょう。反省をして記録しておくことにより、実習生としての質が向上します。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

# 授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども未来学科	実施学年	1学年	開講期	通年(前期)		
科目名	教材研究 I	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	阿部 裕子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立、私立保育園及び認定こども園での23年の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行う						
授業のねらい (到達目標)	絵本や紙芝居の読み語りの基本的な技術をはじめ、様々な保育技法を習得する 制作の際必要となる基本的知識技術を学び、保育グッズを实际制作したり実技方法について考える						
授業概要	絵本や紙芝居の年齢別選び方やポイント、持ち方、読み方について学び実演をする 手あそびモノ遊びなどを覚えて実際にやってみる 壁面装飾や製作あそびに必要な基本等を実際の素材や道具を使用し学びあう 自分なりの工夫を凝らして保育グッズを作る できたら演じて見せ合う						
テキスト	「基本の遊びと広げ方」「すきま時間あそび107」&必要に応じてプリント						
授業計画	第1回	前期の授業内容・採点方法について 図画工作室の使い方片付け方 道具箱の中身の説明・使い方・実際に使ってみる					
	第2回	手あそびについて学び、様々な年齢に向けての手あそびの実演を参考に実際にやってみる テキスト「基本のあそびと広げ方」&プリント 手あそびは、前期末までに一人最低でも20曲覚える					
	第3回	絵本の年齢別選び方、持ち方・読み方について学ぶ					
	第4回	自己紹介や絵本の導入に使える手あそびと、絵本の終わり方について					
	第5回	紙芝居の年齢別選び方・めくり方・仕掛けについてと読み方の実演					
	第6回	制作のための基本的な知識と指導のポイントや裏技について プリントや実際の物を確認しながら、教材の素材と利用の知識やコツを知る					
	第7回	簡単なペープサート・カードシアターなど年齢別に様々な実演を見たり、資料を調べたりしながら自分の作りたい物を決められるようにする					
	第8回	制作を開始する					
	第9回	全員完成を目指す					
	第10回	実際に演じて見せ合い、子どもたちの前での実践方法を考えながら学び合う					
	第11回	保育で使用するグッズ第2段の制作 スケッチブックシアター(自己紹介用を含む)					
	第12回	↓					
	第13回	↓					
	第14回	完成した者から演じる練習をする					
	第15回	各自が覚えた手あそびを披露し合い、全員で共有する					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

# 授業概要(シラバス)

新潟子ども医療専門学校

対象学科	子ども未来学科	実施学年	1学年	開講期	通年(後期)		
科目名	教材研究 I	授業形態	演習	単位数	1 単位		
担当教員	阿部 裕子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立、私立保育園及び認定子ども園での23年の勤務経験から、現場に役立つ保育教材全般について実践的な授業を行う						
授業のねらい (到達目標)	子どもが楽しめるグッズを作り、演じ方を考えて確実に使える物にする いろいろな素材に親しんで、保育のポケットを充実させることで技術の向上を図る						
授業概要	保育現場で役立つ制作や、いろいろな素材を使ったあそびを体験し、その応用を考える 個人やグループでの発表の経験を積み、演じ方や基本的な技術を習得する						
テキスト	テキスト「基本の遊びと広げ方」「すきまあそび時間107」&プリント						
授業計画	第1回	「すきま時間あそび107」であそぶ					
	第2回	オリジナルのネタ帳作成					
	第3回	保育現場で役立つグッズ制作(ペープサート・パペットなど) part①					
	第4回						
	第5回	▼ 完成した者から、演じ方を考える					
	第6回	発表する					
	第7回	保育現場で役立つグッズ制作(不思議カード、変身紙皿など) part②					
	第8回	身体を動かすあそび・遊戯系など					
	第9回	保育現場で役立つグッズ制作(手袋シアターなど) part③					
	第10回						
	第11回	▼					
	第12回	パネルシアターについて学ぶ 自分の作りたい物を決める                      制作開始					
	第13回						
	第14回	▼ 完成した者から演じる練習をする					
	第15回	発表する					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施      授業時数の2/3以上の出席		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%		25%	10%	15%	
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							